

と。第一は、ルソー、ベスタロッチー、フレーベルとその趣旨を同じくし、第二は、ソ聯、中共の保育所の先驅をなすものである。

教育方法として顯著なもの四つ説明する。第一は、大自然の中で、戸外で体育を強調したこと。後年のマクミラン女史の先驅をなした。オーエンは、工業都市と機械工場の生活が人間の健康を害するゆえ、清い日光・空気の下で遊戯、ダンス、行進を行ない、心身の健全をはかった。広い運動場の設置は、教育史上最初であった。

第二は、大自然の中で直観教授を行なった。事物についての直観(sensible signs)と、打ちとけた話し合ひ(familiar conversation)とによって観念を獲得し、比較反省し、明瞭な判断へと發展を企図した。徹底し自己活動である。コミュニケーションよりもベスタロッチーに近い。

第三は科学技術の基礎教育の強張である。作業や実習を行ない、

感覚を練り、構成能力を養成した。玩具は百害あって一利なし、といて用いなかった。産業革命の科学技術を考慮に入れた教育で、ソ聯のポリテクニズムの先驅をなしている。

第四は、協同的社会性の徹底した教育である。一才で入園した時、遊び仲間を損うようなことをしてはならない。仲間を幸福にするように全力を尽しなさい」と。協同精神の徹底した教育方法である。(大会発表論文録抄79頁)

## ドイツ啓蒙時代における

## 幼児教育の發生

広島大学

丸尾

讓

(大会発表論文抄録93-94頁)

## 学会共同研究 京阪神三市の保育史の研究

xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

## わが国最初の幼稚園と

## 京都の雰囲気

村山貞雄

わが国の幼稚園のはじまりは、一般には東京女子師範学校附属の幼稚園であり、その前に京都に幼穽遊戯場というものがあつたといふように言われている。

私達共同研究委員会でしらべたところでは、明治四年に横浜に、また明治六年に京都に幼稚園があつた形跡があるが、さだかではない。はっきり現れたものは、明治八年の柳池校附設幼穽遊戯場である。

この遊戯場は、女子師範学校の附属幼稚園のできる少し前に、何

かボツツと出来てすぐ消えたというように簡単にかるく考えられがちであるが、私達は幼稚遊戯場にもっと重要な意義を認めつつある。

重要な意義の原動力になるのは、皇居が明治二年京の地を離れることになったので、京都の人々が新たな発展の分野を教育振興ということに求めたことである。きわめて長いあいだにつちかわれた都びとの底力と文化的な教養が教育熱ということにあらわれ、そのあらわれの一端が幼稚遊戯場であると見たのである。ここは女子師範学校のように政府によって作られた（したがって別に東京でなくても出来た）ものでなく、民衆の自然の力がみられており、現在わが国の大多数を占める私立幼稚園の開拓者という意味をもっている。

それどころか、私は先ほど京都の人々の教育熱のあらわれの一端だと言ったが、偶然あらわれた単なる一端でなく、その最も高い峯であり、あらわれるべくしてあらわれたものであるということである。すなわち、明治初期の京都の人びとは、自分たちの民意をより上げて、これを組織し、制度化することがうまかったのであるが、このようにして京都に早くから東京府に先んじて小学校をつくっている。

なかでも柳池校は鳩居堂の主人が計画して組内の少年を集めて小学、三字経、論語、日本外史等を教えていたのがもとになり、明治二年五月二十一日に上京第二十七番組小学校として文部省の開設や政府の教育奨励に先立って出来た我が国最初の小学校である。これは、四書五經心学道話などを教えていたことから随分古いことが分るのであるが、この我が国最初の小学校はさらに明治六年には女紅場をもうけたり、役場を学校の一部につくるなど、庶民教育の総本山となろうとしたことが察せられる。

ここに、京都市民のエネルギーの結果として、いわば下から盛り上った、しかも一般大衆の庶民教育として我が国のモデルスクール

となろうとした学校があらわれたわけである。そしてこの学校が、ゼルマン地方には大小学のほかに学齡未滿の幼児のための幼稚園がつくられているから、自分たちの学校でも当然これに注目して幼稚園教育をするべきではないかという考えで、我が国ではじめて幼稚遊戯場を開設している。

このように、我が国最初の幼稚園である幼稚遊戯場は偶然早く出来たというようにものでなく、京都市民の大きな理想のあらわれとして出来たものである。

## 大阪市における 初期幼稚園発生の系譜

水野 浩 志

大阪市における幼稚園発達史は誠に我国幼稚園発達史を物語る一つの典型である。その意味において、ここでは大阪市の幼稚園教育が特に公立を中心として発展していった原因を尋ねながら、初期幼稚園が設立されるに至った系譜を保姆養成との関連において考察する。

大阪市に幼稚園教育の発展をもたらした根本的原因の一つは、為政当局者が他府県に先がけて、幼児教育に関心をもち、明治十二年に府立模範幼稚園を設立したことである。

当時の府知事渡辺昇は我国幼児教育の先覚者関信三とは親交があり、また関信三が大政官牒者として活躍していた頃の上役でもあつ